

**(2) 医療体制の充実**

八雲総合病院は、平成25年度からの改築工事が終了し、昨年5月にグランドオープンしました。現在の病院経営は、医師など医療従事者の地域偏在が著しく、マンパワーの不足、医療圏人口の減少などが相まり厳しい環境が続いています。医療サービスの向上と持続可能な経営を図るため、引き続き、医師の確保と診療体制の整備に努めていきます。さらに、地域で安心して医療を受けられるよう、病病、病診、保健・福祉サービス機関との連携を強めるため地域医療連携室の新設や、経営管理システムの導入により医療の質と収入の向上、経営の見える化を進め、町民に愛され信頼される病院づくりを進めていきます。

熊石国保病院は、住み慣れた地域で安心して医療の提供を受けられる「かかりつけ病院」として、高齢化する地域住民のニーズに対応した医療サービスや救急医療体制の充実を図り、病院経営の健全化に努めていきます。

**(3) 地域福祉の促進**

人口減少や少子高齢化が進む中、住み慣れた地域でいつ

までも安心して健やかに暮らすため、お互いを思いやり、支え合うことが必要です。

各町内会や民生委員協議会等関係団体と連携し、地域の人々の結びつきを深めるための声掛けや見守り活動などが推進されるよう支援していきます。また、社会福祉協議会と連携を図り、引き続きボランティア団体の活動支援や地域ボランティアの育成、人材確保への支援に努めていきます。

**(4) 高齢者福祉の推進**

八雲町の高齢化率は32%を超え、今後も高齢化は進んでいくと想定されます。平成29年度に「八雲町高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画」を策定し、高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して健やかに暮らし続けられる地域社会を目指し、八雲町らしい地域包括ケアシステムの深化・推進に取り組んでいきます。

高齢者が元気で暮らしていくための介護予防対策として、運動による身体機能の向上などに重点を置いた事業を推進し、リハビリテーション専門職などを活用した自立支援・重度化防止に資する取り

組みを進めていきます。

また、単身世帯で支援を必要とする高齢者が増えており、多様な主体による生活支援サービスの充実が求められています。平成30年度からは生活支援コーディネーターを配置し、生活支援の担い手の発掘や地域資源の開発に取り組む予定です。

さらに、高齢化の進行に伴う認知症高齢者の一層の増加に対応するため、平成29年度より開始した認知症初期集中支援推進事業の本格運用を図り、認知症の早期診断・早期対応に向け、医療との連携を強化し支援していきます。

平成30年度より高齢者に対してのスポーツ施設共通利用券の購入費用の一部を助成し、年間を通じたスポーツ活動を推進し、高齢者の健康づくり・体力の向上を促進していきます。

**(5) 子ども・子育て支援の強化**

平成30年度は、子育て支援事業計画の4年目となり、引き続き計画に基づき子育て支援事業を展開し、次期計画（平成32～36年度）策定に向け準備をすすめていきます。子育て支援センターでは、

子育てに関する相談、地域に出向いた活動や未就学児の一時預かり事業のほか、子育てサークルの育成・交流などを通し子育て支援の充実に努め、関係機関との連携協力により不登校やひきこもりなどの子ども・若者の支援に取り組んでいきます。

子ども発達支援センターは、発達の遅れや障がいのある児童とその家族への支援のため、発達相談や療育事業の支援体制の充実を図り、関係機関と連携協力しながら適切な支援に努めていきます。また、「育ちと学びの応援ファールーカラフル」の活用を推進し、児童の成長にあわせて継続した支援に努めていきます。

児童虐待は、早期発見・早期対応に努め、児童相談所をはじめとする関係機関との連携を図り、児童の安全を確保し、児童が健全に育成されるよう支援していきます。

熊石地域の保育園運営は、保護者などとの情報共有し議論を深め、引き続き具体的な統合に向けた協議をしていきます。

子育て支援を充実させるため、認可保育園、幼稚園の利用者負担金の軽減を図り、引

き続き子育て家庭のニーズに対応した支援策を検討していきます。

**(6) 障がい者福祉の推進**

第3次八雲町障害者計画の基本理念は、「差別や偏見がなくだれもが平等に共に生きるまち」「安全に安心して暮らせるバリアフリーのまち」

「社会の一員として自立し成長できるまち」の3つを掲げており、障がい者が地域で自立した生活を送ることができるよう、障害福祉サービス、地域生活支援事業の充実および利用の促進に努めていきます。また、障がい者の経済的自立・社会参加の促進の観点から就労支援を推進するため、就労支援事業所などの関係機関と連携していきます。

さらに、障がい者に対する差別や偏見のないまちを目指し、虐待の防止・早期発見に努めていきます。加えて、あらゆる支援の基本となる相談支援は、重要な取り組みであり、積極的に展開していきます。